

あしあとシート



| |
|-----------|
| 氏名 (No.1) |
| 美田園 一郎 |

[支援振り返りカレンダーを表示](#)

| ①話合いや連携の状況 | 校内 | 校内での話合い | 保護者 | 保護者との関わり | 外部 | 外部専門家同席の話合い | |
|--------------|----|--------------|-----|---------------|----|-------------|---|
| | SC | SCと連携(面談を含む) | SSW | SSWと連携(面談を含む) | △ | (各校で入力可) | |
| ②支援の手立ての実施状況 | 開始 | | 継続 | | 変更 | ○ | ◇ |

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|-----|-----|-----|----|----|----|
| ① 学年会 | | 校内 | 校内 | | | |
| ② 観察 | 観察 | 観察 | 開始 | 継続 | 継続 | |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

進級（卒業）までに身に付けさせたい力

適切なコミュニケーションの方法や対人スキルを身に付ける。

現在の手立てや役割分担

| 現在行っている手立て | 現在の役割分担 |
|---|--------------------------------|
| 人前での意見の発表方法に幅をもたせ、ICTを活用して画面表示にしたり、付箋に記入したりするなど、発表の方法の選択が、クラス全体でできるようにする。 | ICTを活用して話合いや発表の方法を工夫する。(各担当教科) |
| ホームルームなどで、隣の人と好きなテーマの話をする30秒トークを行う。慣れてきたら、話し相手やテーマを変えたり話を聞いて感想を記入したりする。 | ホームルームで、30秒トークを毎週3回程度行う。(担任) |
| | |
| | |
| | |

児童生徒の様子

- ・人前での発表は極端に拒んでいたが、ICTの活用により、意見をどんどん出すようになった(化学)。実験などのグループ活動では、他の人との話合いがうまくいかず、自分勝手に行動していることがまだ見られる。
- ・ホームルームでは、30秒間で区切れなかった話が、最近は時間内でまとめることができる。

サポートMEMO

母からの情報

特別な支援や配慮ではないものの、中学校では修学旅行に向けた事前活動でうまくいかなかったため、修学旅行でグループ活動や集団での行動を母が心配して担任に相談をし、先生方がうまく対応してくれて大変お世話になったと話していた。

情報共有シート

氏名 美田園 一郎

【児童生徒の思いや願い】

・人と話をしたり、発表することについて尋ねると、小学校の頃、しゃべり方が変だとからかわれ、それが今でも気になりコンプレックスだと話していた。5/17（担任が聞き取り）

【児童生徒の良いところ・得意なこと】

読書が好き。
自分のペースで、黙々と学習することができる。
興味のあることについて、自ら深く学んでいる。地学、特に天体に興味があり、知識が豊富で、話が止まらなくなる。

【現在の状況や参考になる情報】

保護者の思いや願い、家庭や学校の様子（学習面、行動面、生活面、身体面、友人関係など）

・入学直後に、保護者から、中学までの義務教育と異なる高校での授業や、人間関係について不安な面があり、家庭で何かできることがあれば、協力するとの話を受けている。幼少期から人との関わりがうまくなく、一人であることが多かった。

「チェックリストABC」の実施について 実施した 実施していない [【特別な教育的支援を必要とする児童生徒のチェックリスト】](#)
[特別支援教育関連資料\[宮城県公式HP\]](#)

【情報を共有したい具体的なエピソード】

「いつ」「どこで・どのような場面で」「誰が・誰と」「どうした・どうなった」「どのくらいの頻度か」「本人の発言や行動などの様子」「周囲との関わり」「活動への参加の様子」
「どう対応したか」「反応はどうだったか」「その後の様子はどうか」

記録者： 養護教諭 エピソードが起きた日： 202×年 5月 19日 最も共有したいエピソード 保護者と共有 【未】

・5月の大型連明けで合計10回利用している。本人に授業について聞いてみても、あまり答えられないため、保健室を利用した時間の授業担当教員と話したところ、どの教科においても発表や話し合い活動の時に来室が多いことが分かった。

記録者： 担任 エピソードが起きた日： 202×年 4月 26日 最も共有したいエピソード 保護者と共有 【未】

入学当初の保護者からの話を受け、2週間程度経った頃に、「学校どう？」などと声を掛けたが無言で立ち去っていった。
放課後、無言で立ち去った理由を聞くと、ぶっきらぼうな口調で「無視していません。話し掛けられたことを知りませんでした。」という返事が返ってきた。

記録者： 副担(化学科) エピソードが起きた日： 202×年 5月 29日 最も共有したいエピソード 保護者と共有 【未】

授業中、人前で発言や発表する場面になると、咳き込んで話ができなくなることが2回続いた。グループ活動では全く話さず、同じグループの生徒が困惑していることがあった。
次の学習課題に取り組むよう促したが、全く取り組もうとしなかった。授業が終わり、休み時間になると、一人で何事もなかったかのように過ごしている姿が見られた。

記録者： 国語科担当 エピソードが起きた日： 202×年 5月上旬日 最も共有したいエピソード 保護者と共有 【済】

授業終了後に本人に、何か分からなかったかと聞くと、「自分が話をしていたときに笑われたので、もう発表はしません。」と話した。
笑われたと感じた場面がどこかを尋ねると、授業の始めに行われたグループ活動での音読だったと答えた。発表する内容はノートに記入されていた。

記録者： エピソードが起きた日： 年 月 日 最も共有したいエピソード 保護者と共有

記録者： エピソードが起きた日： 年 月 日 最も共有したいエピソード 保護者と共有

| | | | | | | | | |
|---|--|--------------------------------------|-----------------------------|----|----------------------------|----------------------------|---|-----|
| 話し合い記録シート | | 記入日 | 202×年 | 5月 | 30日 | 氏名 | 美田園 一郎 | 1回目 |
| 話し合いしたいこと | | | 本人の困っている状況や困難さ | | | 情報共有シートへ戻る | | |
| ・人前で話をするような場面になると、逃避する傾向が見られる。 | | | ・発表や話し合いなど人前で話すときに緊張や不安がある。 | | | | | |
| 目指す姿・身に付けさせたい力・伸ばしたい良いところ | | | | | | | | |
| ・グループ活動や人前で話すことなど、苦手なことに取り組んでみようとする。 ・コミュニケーション力を上げ、対人スキルを身に付ける。 | | | | | | | | |
| 手立て（どうやったら本人ができるようになるか） | | | | | | | | |
| 人前での意見の発表方法に幅をもたせ、ICTを活用して画面表示にしたり、付箋に記入したりするなど、発表の方法の選択が、クラス全体でできるようにする。 | | | | | | | ★やってみる <input type="checkbox"/> | |
| ホームルームなどで、隣の人と好きなテーマの話をする30秒トークを行う。慣れてきたら、話し相手やテーマを変えたり話を聞いて感想を記入したりする。 | | | | | | | ★やってみる <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | ★やってみる <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | ★やってみる <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | ★やってみる <input type="checkbox"/> | |
| ★実施可能な手立てを選択し、チェックを入れ、評価日を設定する | | | | | | 評価日 | 6月下旬日 | |
| 役割分担（誰が・どのようなときに・どうするか） (支援内容等の情報の周知、保護者への連絡、専門機関との連携など) | | | | | | | 役割分担が決まったらチェックする <input checked="" type="checkbox"/> | |
| ICTを活用して話し合いや発表の方法を工夫する。(各担当教科) | | | | | | | | |
| ホームルームで、30秒トークを毎週3回程度行う。(担任) | | | | | | | | |
| 次回の話し合いの予定 | | | | | | | | |
| 日にち | | 6月末日 | | | あしあとシートへ戻る | | | |
| 内容 | | 手立ての有効性の検討 | | | | | | |
| 手立て実施後の児童生徒の様子 | | | | | | | 児童生徒の様子を記入したらチェックする <input checked="" type="checkbox"/> | |
| ・人前での発表は極端に拒んでいたが、ICTの活用により、意見をどんどん出すようになった(化学)。実験などのグループ活動では、他の人との話し合いがうまくいかず、自分勝手に行動していることがまだ見られる。 ・ホームルームでは、30秒間で区切れなかった話が、最近は時間内でまとめることができる。 | | | | | | | 改善の様子について | |
| | | | | | | | 改善が見られた | |
| | | | | | | | 今後の手立てについて | |
| | | | | | | | 手立てを継続する | |
| 見立てや手立てに困ったとき 話し合いに困ったとき 専門的な助言が必要なとき | | はなさばケーススタディ&コラムへ | | | 地域支援相談MAPへ | | | |